

プラスチックゴミ\*

処理に困っています

私たちの日常生活におおいに役立っているプラスチックでも用途を終えてゴミとして出されると、その処理が大変困難なモノなのです。

当市では、現在、プラスチック製品は燃えないゴミとして収集されています。そして燃やせずに埋立て処分をしているわけですが、プラスチック類は燃えないゴミの約40%を占めています。五十二年度の一年間に処理した燃えないゴミは千八百三十四トンでしたから、約七百三十トンはプ

現在、市内各地区で古紙回収が活発に行われていますが、これを一番最初にとりあげられたのが新津生活学校のみなさんです。会長は南雲ハルさん（秋葉一）にお話をうかがいました。



南雲 ハルさん

ラスチック類だったわけです。このように大量に出るプラスチック類のために、廃棄物埋立地もすぐ満杯になり、その用地探しも容易ではありません。また、プラスチック類は腐らないために、埋立てもなかなか地面がしまらず、いつまでもプカプカしているという問題もあります。

プラスチックは石油からできるわけですから、燃やそうと思えば燃やすこともできます。しかし、石油を原料としているだけに発熱量が高く、

燃えないゴミとして出しても、集めてくれないときもあつたりするんです。古紙はダンボールなどに再生できるし、空きかんや鉄くずからチェーン、鉄筋を作っている再生処理工場が長岡にあります。ところが、プラスチックの再生処理工場は県下に一所もないんです。身近に再生処理工場があれば、プラスチックゴミの回収ルートも確立できると思うんですが……

身近にほしい 再生処理工場

「使い捨て時代への反省から古紙の回収運動が始めたのがいまから二年前です。最初に新町地区を対象に行ったんですが、四ト

炉をいためるとか、有毒ガスが発生するというので、焼却処分は適当ではないのです。

急がれる 再生利用の道

プラスチック製品の廃棄物は、いま全国の自治体で問題になっていきました。しかしプラスチックを全く使用しないということは不可能ですので、量を減らし、そして再生利用の道を考えることが急がれているところですよ。

当市でも資源愛護の立場から、ゴミとして出されるものでも、有価物はなるべく回収ルートにのせて、再生利用を

ン余りも集まりました。また昨年からは空きかんの回収運動も始めています。プラスチックゴミには私も困っているんですが……

はかりましょう」と呼びかけています。これに応えて、最近、市内各地区で古紙の回収が進められています。五十二年度は九回実施して二十五トンの古紙が回収され、五十三年度は十一月までに三十七回実施されています。また古紙だけでなく、空きかんの回収も一部の地区で始められたところですよ。

ゴミの分別を徹底して

プラスチック類も古紙や空きかんのように回収ルートが確立できればよいのですが、再生利用の技術はまだそれほど普及していません。将来はプラスチックの高いカロリーを生かして、エネルギー源として用いる方法なども考えられています。しかし一般にプラスチックゴミは、その種類が多く、しかも汚れているなど、いろいろな難しい問題を抱えています。

そこで、いまの段階としては、プラスチックゴミはなるべく出さない、また出す場合も、燃えないゴミ、燃えないゴミにきちんと区別して、燃えないゴミとして出すことが望まれているのです。

消費者とマーク

ガス器具の検定合格マーク

私たちの生活に欠かせないガス。しかし、そのガスも使い方をひとつ間違っただけで、欠陥商品を使用すると、思わぬ大事故につながるります。

国では、ガス器具による事故を防ぐために、都市ガス、プロパンガス器具ともに厳しい検査を行い、合格したものに、合格マークを付けて検定合格マークを付けて



プロパンガス

都市ガス

います。

（都市ガス用の器具）

現在、規制の対象となっているガス器具は、ガス瞬間湯沸器、ガスストーブ、ガスバーナー付きふろがま、ガスふろがまバーナー、ガスふろがまバーナー元栓、ガス圧力がま及び圧力なべの六品目ですが、今後さらに対象範囲を拡大していくことを検討しています。

（プロパンガス用の器具）

プロパンガスの場合、規制されている品目は、調整器、液化石油ガスこんろ、液化石油ガス用瞬間湯沸器、高圧ホース、ふろがま、密閉燃焼式ふろがま、ふろがまバーナー、ふろがまバーナー元栓、ストープ、閉止弁、圧力なべ及び圧力がまの十一品目が対象になっています。都市ガス器具と同様に今後指定範囲を拡大していくことを検討しています。

ガス器具を購入する場合は、検定合格マークが付いているかどうか確かめください。